

【NEWS RELEASE】

2020年2月21日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

2020年度「データマネジメント賞」大賞受賞について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループCEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBCグループ」）は、一般社団法人日本データマネジメント・コンソーシアム（JDMC）¹が選定する2020年度「データマネジメント賞」²の中で「大賞」を受賞いたしました。

「データマネジメント賞」大賞はデータマネジメント活動において、特筆すべき取組・成果を出した企業・機関などで、その取組が現状および将来にわたり他の模範となると認定された場合に授与される賞です。株式会社三井住友銀行（頭取CEO：高島 誠）と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）にて構築した、ビッグデータに対応する新経営情報基盤において、国内外の基幹システムを集約しデータ収集ができる環境を整え、部署の垣根を超えた計数標準化の実現を通じ、お客さまごとにグローバルな目線で最適なお提案・取引をするための基礎を整えました。これが銀行の新たな価値創造を目指したデータマネジメントの取組であるとして、他の規範になるものと高く評価されました。

SMBCグループでは、今後も、お客さま本位の実践に向けて、データを適切にマネジメントし、より質の高い金融サービスを提供してまいります。

以 上

¹ 様々なデータや情報のマネジメントに関する社会的認知を高め、企業や行政機関などがデータマネジメントを実践するための土壌を創ることを目的とする団体

² データマネジメント（データの蓄積、管理、活用）において、他の模範となる活動を実践している企業・官公庁・団体・個を表彰するもの。